

令和6年度後期 情報検定

<実施 令和6年12月15日（日）>

2級

(説明時間 11:05~11:15)

(試験時間 11:15~12:15)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は17ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後の合否結果（合否通知）、および合格者への「合格証・認定証」はすべて、Web認証で行います。
 - ①情報検定（J検）Webサイト合否結果検索ページ及びモバイル合否検索サイト上で、デジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」が交付されます。
 - ②団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題 1 次のシステム化計画に関する記述を読み、各設問に答えよ。

システム化計画では情報システム戦略にもとづいてシステム化構想およびシステム化基本方針を立案する。開発スケジュールや概算のコスト、費用対効果などを検討するとともに、システムを導入した際に予想されるリスク分析などを行い、システム化の全体像を明らかにしていく。

<設問 1> 次のシステム化を行う際の費用に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

システム化に必要な費用とシステム投入によって得られる効果を見積もり、十分な投資効果を得られるか検討する。

システム化の費用には、□(1)と□(2)がある。

□(1)は、開発費や購入費といったシステムの導入に伴って発生する費用であり、□(2)は、通常の業務を行うために発生する人件費や修理費といった費用である。費用を検討する際はシステムの導入、維持、運用管理にかかるすべての費用を含む□(3)の観点から見積もることが重要である。

(1) ~ (3) の解答群

- | | | |
|--------|----------|----------|
| ア. EVM | イ. TCO | ウ. 運用コスト |
| エ. 固定費 | オ. 初期コスト | カ. 変動費 |

<設問 2> 次の要件定義に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

要件定義では、システム化計画にもとづき、ユーザーニーズの調査、要求分析、現行業務の分析などを行い、システムの仕様などを定義する。

システムの開発に際して定義される要件のうち、システム化の範囲、システムの機能に関するものを□(4)、それ以外の要件を□(5)と呼ぶ。

(4), (5) の解答群

- | | | |
|----------|---------|---------|
| ア. 機能要件 | イ. 基本設計 | ウ. 詳細設計 |
| エ. 非機能要件 | | |

<設問3> 次の調達計画・実施に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

調達とは、システム開発に必要な各種資源をベンダ企業などの外部組織から入手することである。

調達の流れをまとめると、次のようになる。

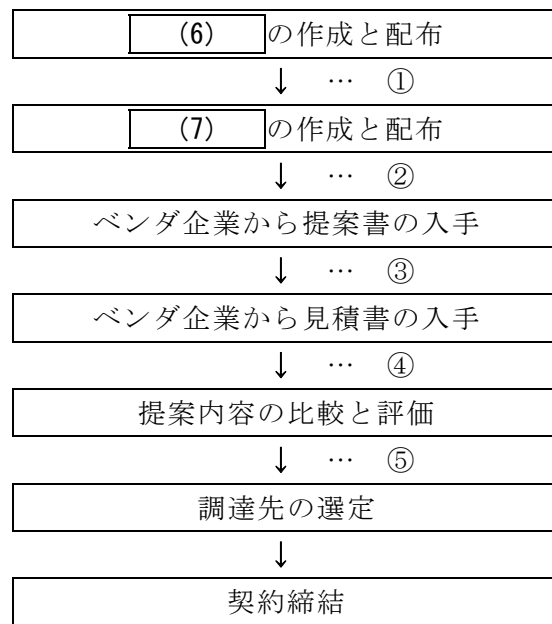


図 調達の流れ

調達をする場合、発注者はベンダ企業に製品や技術に関する情報の提供を依頼する文書である□□(6)を提示しシステム化に関する情報提供を依頼する。

次にベンダ企業に導入を計画しているシステムの基本方式、概要、提案を求める事項などの調達条件である□□(7)を提示して、システム開発の提案書を依頼する。

なお、ベンダ企業に発注者のニーズを正確に理解してもらうには、開発するシステムの機能を遅くとも図の調達の流れに示した□□(8)に公開しておくといよい。

(6), (7) の解答群

- ア. RFC イ. RFI ウ. RFP エ. RFQ

(8) の解答群

- ア. ① イ. ② ウ. ③ エ. ④ オ. ⑤

問題2 次のサービスサポートに関する記述を読み、各設問に答えよ。

サービスサポートは、日々の IT サービスをサポートする具体的な運用手法をまとめたものである。顧客やユーザからの問い合わせに対応し、迅速に業務を再開することを目的としており、一つの機能と五つのプロセスから構成される。

サービスサポートの機能と各プロセスの関連は次のとおりである。

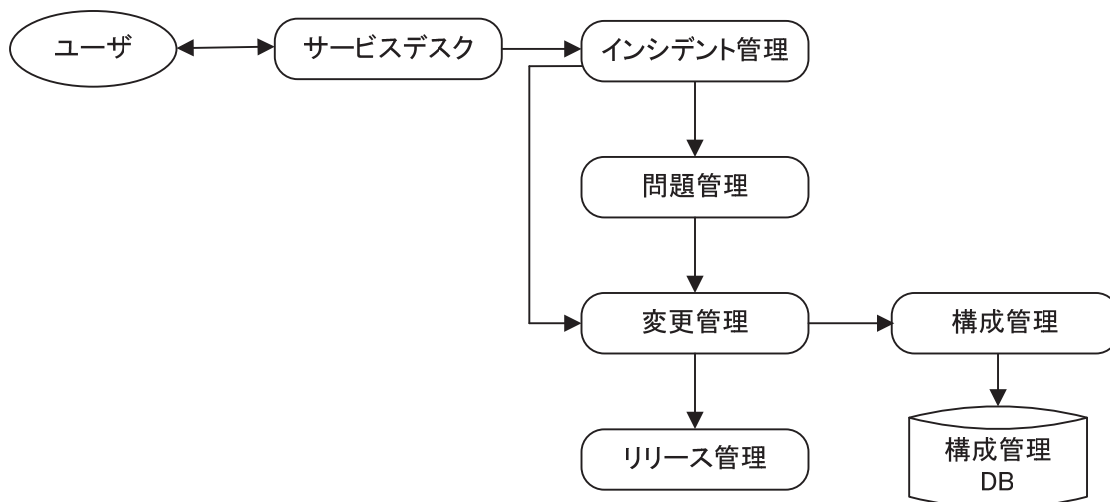


図 サービスサポートの機能と各プロセスの関連

<設問1> 次のサービスデスクに関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

サービスサポートの中でサービスデスクが、ユーザからの問い合わせに対応する単一の窓口となり、ユーザからの問い合わせを一元的に受け、 [(1)] 問い合わせ内容を記録する。また、ユーザに問い合わせの対応状況を随時報告する。インシデントを解決するために必要な知識が不足している場合、より専門的な知識をもつ組織に [(2)] する。

なお、多く寄せられている同じような質問に対しては、 [(3)] を作成して公開することでサービスデスクに対する問い合わせを軽減させることができる。

(1) の解答群

- ア. すぐに対処可能な
- イ. すぐには対処不可能な
- ウ. すべての

(2), (3) の解答群

- ア. FAQ
- イ. PMO
- ウ. SLA
- エ. エスカレーション
- オ. シェアリング
- カ. ベンチマーキング

<設問2> 次の各プロセスに関する記述中の□(4)に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

インシデント管理では、サービスデスクから引き渡された問い合わせに対して、問題追求は後回しにして、通常の IT サービスを回復するように応急措置を行う場合がある。

問題管理は、インシデントを引き起こした□(4)を追究し、恒久的な解決策の提示を行う。

□(5)は、IT サービスに対する不具合の修正や新機能の適用などの変更を一元的に管理する。ここで承認された変更要求だけが、□(6)に引き渡される。

□(6)は、承認された変更要求を本番環境に実装し、変更後の本番環境の品質を保証する。

□(7)は、ハードウェアの種類やソフトウェアのバージョンなどの IT インフラの正確な構成情報を取得し、最新の品質を保つ。

(4) の解答群

ア. 根本原因 イ. 対応策 ウ. ユーザ

(5) ~ (7) の解答群

ア. 構成管理 イ. 変更管理 ウ. リリース管理

問題3 次の情報表現に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータ内部では、割り当てられた文字コードを用いて文字や記号を表現している。文字コードをどのように決めるかをコード体系という。

<設問1> 次の文字コードに関する記述に該当する適切な字句を解答群から選べ。

- (1) 日本産業標準調査会(JISC)が定めた文字コードである。英数と半角カタカナを扱う8ビットコードと、全角文字を扱う16ビットコードがある。
- (2) Microsoft社が策定に参加し、主にパソコンで使用されており特殊な切替コードを使わずに8ビットのコードと16ビットの漢字コードの混在を可能にしている。
- (3) アメリカ合衆国規格協会(ANSI)が定めた7ビットコードであり、誤り検査のための1ビットと合わせて8ビットで表現する。アルファベット、数字、記号、制御文字が定義されている。
- (4) 世界中の文字の多くを表現するために策定された文字コードであり、国際標準化機構(ISO)で国際規格として採用されている。当初は2バイトの文字体系だったが、文字の追加や異体字表現の採用で現在は4バイトまで拡張している。
- (5) UNIX系OSで標準的に利用されてきた文字コードである。さまざまな国の言語を扱えるよう漢字をはじめとするマルチバイト文字に対応している。ただし、世界の文字統一を目指したわけではなく、各国独自の文字体系になっている。

(1) ~ (5) の解答群

ア. ASCII

イ. EBCDIC

ウ. EUC

エ. JIS

オ. Unicode

カ. シフト JIS

<設問2> 次の文字コード表に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図の文字コード表を用いて「IoT」の3文字を16進数で表現した値は (6) であり、16進数の「4A6176」で表現された3文字は (7) である。

表 JISコードの1バイトコード(制御文字, ASCII文字)表

								b8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
								b7	0	0	0	0	1	1	1	1		
								b6	0	0	1	1	0	0	1	1		
								b5	0	1	0	1	0	1	0	1		
b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1		0	1	2	3	4	5	6	7		
				0	0	0	0	0					空白	0	@	P	`	p
				0	0	0	1	1					!	1	A	Q	a	q
				0	0	1	0	2					"	2	B	R	b	r
				0	0	1	1	3					#	3	C	S	c	s
				0	1	0	0	4					\$	4	D	T	d	t
				0	1	0	1	5					%	5	E	U	e	u
				0	1	1	0	6					&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7					'	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8					(8	H	X	h	x
				1	0	0	1	9)	9	I	Y	i	y
				1	0	1	0	10					*	:	J	Z	j	z
				1	0	1	1	11					+	;	K	[k	{
				1	1	0	0	12					,	<	L	¥	l	
				1	1	0	1	13					-	=	M]	m	}
				1	1	1	0	14					.	>	N	^	n	~
				1	1	1	1	15					/	?	O	_	o	

 . . . 制御文字

(6) の解答群

- ア. 494F54 イ. 496F54 ウ. 694F74 エ. 696F74

(7) の解答群

- ア. Jav イ. JIS ウ. Zap エ. Zis

問題4 フローチャートに関する次の記述を読み、各設問に答えよ。

J 博物館では様々なものが展示されており、子供からお年寄りまで楽しめる施設である。J 博物館では、利用者の区分や人数などの条件によって入場料金が決まる。以下がそれぞれの条件である。

[利用者区分について]

- ・利用者の区分は大人，学生，子供の3つがある。

[入場料金について]

- ・大人の入場料金は1,000円とする。
- ・学生の入場料金は700円とする。
- ・子供の入場料金は400円とする。

[団体割引について]

- ・1団体につき、利用者の合計人数が10人以上であれば、それぞれの区分の入場料金から20%が割引される。

以上の条件から、J 博物館の入場料金(total_fee)を計算するため、次のようなフローチャートを作成した。

<設問 1> 次のフローチャートの [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

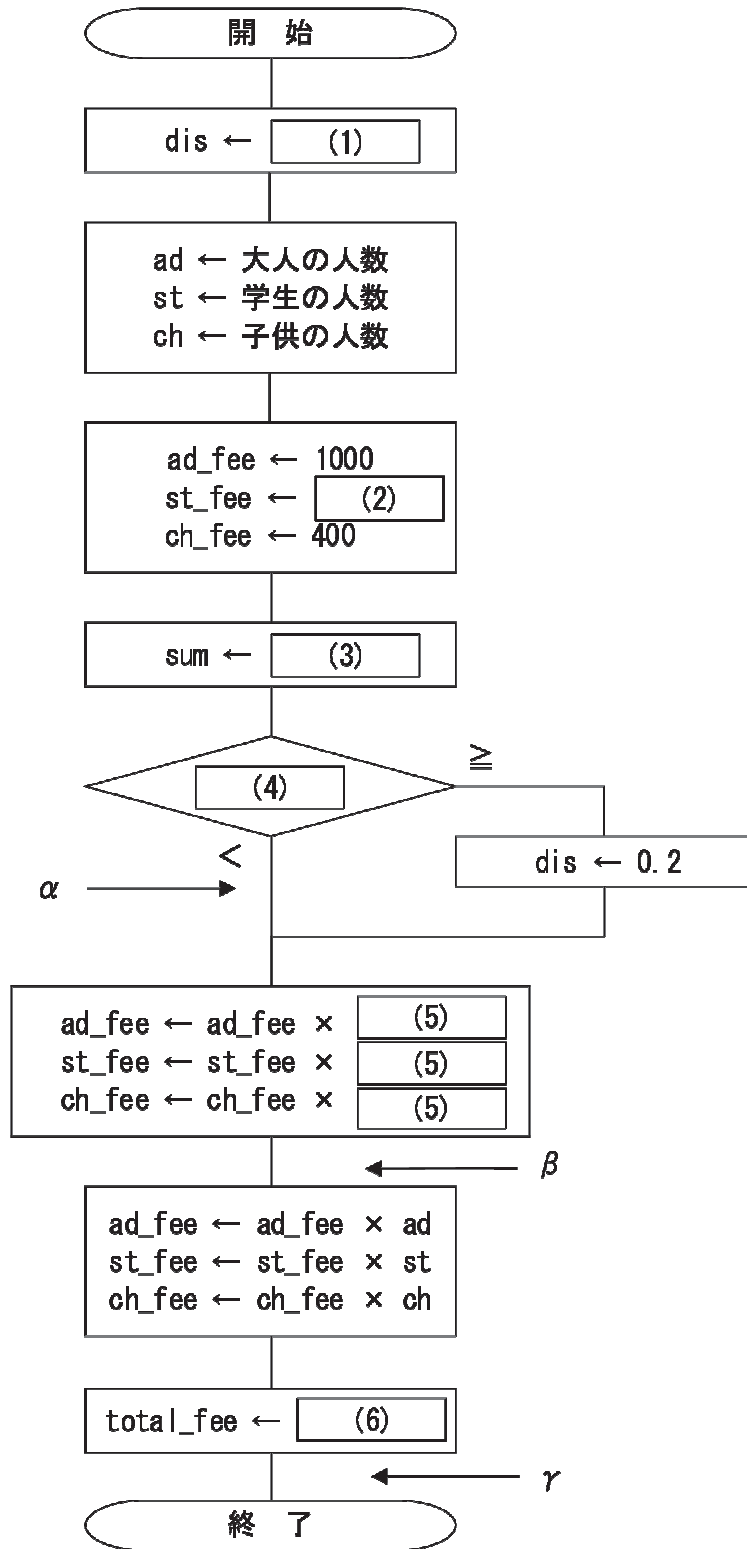


図 フローチャート

(1) の解答群

ア. 0 イ. 0.1 ウ. 0.2 エ. 0.8

(2) の解答群

ア. 400 イ. 600 ウ. 700 エ. 1000

(3) , (6) の解答群

ア. $ad + st + ch$
イ. $ad_fee + st_fee + ch_fee$
ウ. $ad_fee \times dis + st_fee \times dis + ch_fee \times dis$
エ. $ad_fee \times ad + st_fee \times st + ch_fee \times ch$

(4) の解答群

ア. $ad_fee : 1000$ イ. $ch_fee : 400$
ウ. $st_fee : 700$ エ. $sum : 10$

(5) の解答群

ア. $(1 - dis)$ イ. ad
ウ. dis エ. st

<設問 2> 次の記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

J博物館では更なる集客のために、オンライン予約の導入を検討することとなった。オンラインで予約した利用者は10人未満でもそれぞれの入場料金から10%が割引される。ただし、団体割引との併用はできないものとし、オンライン予約で10人以上の場合は団体割引のみが適用される。

ここで、オンライン予約を判断するための分岐処理は図の (7) に追加することが望ましい。また、追加した分岐処理でオンライン予約であった場合は (8) の処理を追加する。

(7) の解答群

ア. α の位置 イ. β の位置 ウ. γ の位置

(8) の解答群

ア. $dis \leftarrow 0.1$ イ. $dis \leftarrow 0.2$
ウ. $dis \leftarrow 0.8$ エ. $dis \leftarrow 0.9$

問題5 次の周辺機器に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータシステムは、CPUを含む本体と、様々な周辺機器で構成されている。その中で補助記憶装置として利用する機器もあり、アクセス速度や信頼性の向上のために利用の仕方にも工夫が施されている。

<設問1> 次の補助記憶装置に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

補助記憶装置として普及しているものにハードディスクがある。ハードディスクは、磁性体を塗布した金属の円盤を回転させ、アクセスアームの先端に付けた磁気ヘッドにより読み書きを行う装置である。ディスクの回転やアクセスアームの移動に機械的動作が伴い、この動作時間がアクセスタイムに影響を与えている。

アクセスの高速化や信頼性の向上を高めるために行うディスクの構成方法の一つに RAID がある。RAID はデータの分割単位やデータの配置方法により RAID0～RAID5 の 6 種類に分類して提唱されている。その後新たな分割単位や配置方法も提案されている。それらの中で多く利用されているのが RAID0, RAID1, RAID5 である。RAID0 は□□(1)とも呼ばれ、複数台のハードディスクに分散記録し、同時にアクセスすることでアクセスの高速化を図っている。RAID1 は、□□(2)とも呼ばれ、2 台のハードディスクに同じデータを記録することで一方のハードディスクに障害が発生して使用できなくなった場合に、他方のハードディスクにあるデータを使用することができるため信頼性が向上する。RAID5 は、3 台以上のハードディスクで構成し、データから□□(3)ビットと呼ばれる検査ビットを生成し、データと□□(3)ビットを複数のハードディスクに振り分けて記録することで、どれか 1 台のハードディスクに障害が発生して使用できなくなった場合に、残りのハードディスクから復元することができ、信頼性が向上する。

□□(4)は、半導体素子を用い電氣的にデータの読み書きを行うため、極めて高速にアクセスできる。また、機械的動作に要する電力も必要ないので、消費電力が少なく、振動や駆動音も無く、装置を小型軽量にすることができるため、ハードディスクに取って代わる存在となっている。

(1) ~ (3) の解答群

- | | |
|------------|--------------|
| ア. ストライピング | イ. パリティ |
| ウ. ミラーリング | エ. メモリインタリーブ |
| オ. ライトスルー | カ. ライトバック |

(4) の解答群

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ア. CCD | イ. DVD | ウ. HDD | エ. SSD |
|--------|--------|--------|--------|

<設問 2 > 次の RAID の機能を含む，すべての組み合わせを解答群から選べ。

- (5) 複数のディスクからデータを並行にアクセスできるので，処理速度の向上を図れる。
- (6) 1 台のハードディスクに障害が発生したとき，残りのハードディスクによりデータの消滅を防げるので，信頼性の向上を図れる。
- (7) 1 台のハードディスクに障害が発生したとき，バックアップなど他の障害対策を施していない限りデータが消滅するので，信頼性の向上は望めない。

(5) ～ (7) の解答群

ア． RAID0

イ． RAID1

ウ． RAID5

エ． RAID0 と RAID5

オ． RAID1 と RAID5

カ． RAID0 と RAID1 と RAID5

問題6 次のインターネットのセキュリティに関する記述を読み、各設問に答えよ。

インターネットは利便性が高く、日常生活においても欠かせないものとなっている。利便性を高くできる要因として Web アプリケーションの進歩がある。最近では AI の活用を含む Web アプリケーションの進歩によって、より利便性が高まっている。しかし、同時に様々な脅威も顕在化してきているため、どのような脅威があるかを理解し、適切に対処する必要がある。

<設問1> 次の Web で用いられる技術に関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (1) Web ブラウザの機能を拡張するソフトウェアのことである。これをインストールすることで、Web ブラウザ上で書式付きのファイルを表示したり、動画や音楽を再生したりすることができるようになる。不要になった場合はアンインストールする。
- (2) Web ページにアクセスしたクライアントコンピュータにテキスト形式で情報を保存する仕組みである。訪問した Web サイトの履歴やユーザ ID などが保存できる。保存されたデータは、同じページを再アクセスした時に利用される。
- (3) Web サーバがクライアントからのリクエストに応じて Web サーバに保存してあるプログラムを起動する仕組みのことである。コミュニケーションサイトやショッピングサイトなど、様々なサービスをインターネット上で実現している技術である。
- (4) 動的な Web ページを作成する場合などに用いられる簡易的なプログラミング言語の総称である。代表的なものとして、主に Web ブラウザ上で実行する JavaScript がある。

(1) ~ (4) の解答群

- | | |
|----------|------------|
| ア. CGI | イ. Cookie |
| ウ. ISP | エ. イン트라ネット |
| オ. スクリプト | カ. パケット |
| キ. プラグイン | ク. ポータルサイト |

＜設問 2＞ 次のインターネットのセキュリティ技術に関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

- (5) Web アプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃から守るセキュリティ対策の一つである。OSI 参照モデルの第 7 層であるアプリケーション層の通信を監視し、攻撃を目的とした通信と判断したものを遮断する。
- (6) インターネットなどの外部ネットワークと社内 LAN などの内部ネットワークの間に作られるネットワークのセグメントで、公開用 Web サーバや公開用メールサーバなどを設置する。
- (7) インターネットですりとりするデータを暗号化して送受信する仕組みの一つで、盗聴やなりすまし防止などの対策ができる。よく知られている HTTPS は、通信先の Web サーバがこの技術を用いて通信を行っていることを示すものである。
- (8) ネットワークの出入り口に設置するもので、不正アクセスやサイバー攻撃から内部ネットワークを守ったり、外部への不正アクセスを禁止したりする。

(5) ～ (8) の解答群

- | | |
|----------|-------------|
| ア. DMZ | イ. SSH |
| ウ. TLS | エ. WAF |
| オ. クラスタ | カ. ファイアウォール |
| キ. リクエスト | ク. レスポンス |

問題7 この問題で使用する表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

IF 関数

条件が真のときに真の場合、偽のときに偽の場合の計算結果や値を返す。

書式：IF(条件, 真の場合, 偽の場合)

ROUNDUP 関数

指定した桁で値を切り上げる。桁数が正の数であれば小数点以下、負の数であれば小数点以上の桁になる。例えば、1にすると小数点第2位以下の桁を切り上げて小数点第1位までを表示し、-1にすると1の位以下の桁を切り上げる。

書式：ROUNDUP(値, 桁数)

SUMIF 関数

指定した検索範囲の中で、条件に一致するセルの合計範囲に対応するセルの値の合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 合計範囲)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。例：ワークシート名「集計」のセルA1を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

J社は3種類の商品（PA, PB, PC）を製造し、3つの直営店（S1, S2, S3）で販売している。販売している商品は、前月までに製造したものである。

[販売計画ワークシートについて]

J社では半年間の月別販売計画を作成する。今回は11月に翌年1～6月のものを作成した。月別販売計画は、「販売計画」ワークシートに入力する。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	直営店名	商品名	1月計画	2月計画	3月計画	4月計画	5月計画	6月計画
2	S1	PA	1,000	800	900	1,200	2,000	1,000
3	S1	PB	500	1,500	800	50	40	20
4	S1	PC	120	100	120	80	90	100
5	S2	PA	1,200	1,000	1,000	1,200	1,800	1,100
6	S2	PB	400	1,000	400	30	40	60
7	S2	PC	300	200	150	200	200	300
8	S3	PA	800	1,100	1,200	800	1,200	900
9	S3	PB	600	1,000	800	70	50	40
10	S3	PC	100	120	130	140	130	110

図1 「販売計画」ワークシート

月別販売計画をもとに月別生産計画を作成する。月別生産計画は、販売計画の1か月前の生産量を計画するものである。今回は12月から翌年5月までの生産計画を作成する。

なお、月別販売計画で設定した数量より多く売れる月もあるので、各月の在庫量は翌月の販売計画量の10%増となるように生産する。

また、商品ごとに1か月に生産できる最大数量（以下、最大月産量とする）が決まっているので、前月までにすべてを生産できない場合がある。

<設問> 次の「生産計画」ワークシートの作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ

図1の「販売計画」ワークシートをもとに、「生産計画」ワークシートを作成する。図2は、商品PAについて表示したものである。このワークシートは、セルA2に商品名、セルB2に最大月産量を入力することで表示を切り替える。

ここで、月ごとに必要となる生産数量を必要生産量とし、最大月産量を考慮して月ごとに生産する商品の量を計画生産量とする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	商品名	最大月産量			前年12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2	PA	3,000		販売計画量	0	3,000	2,900	3,100	3,200	5,000	3,000
3				必要在庫量	3,300	3,190	3,410	3,520	5,500	3,300	—
4				繰越在庫量	0	300	290	310	320	500	—
5				必要生産量	3,300	2,890	3,120	3,210	5,180	2,800	—
6				繰上生産量	2,700	2,400	2,510	2,390	2,180	0	0
7				計画生産量	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	2,800	—

図2 「生産計画」ワークシート

- ① セルA2に、商品名を入力する。
- ② セルB2に、セルA2の商品の最大月産量を入力する。
- ③ セルE2は前年12月の販売計画量であるが、ここでは0を入力する。
- ④ 2行の販売計画量は、セルA2に入力した商品名の販売計画量を各月ごとに集計し

たものである。セル F2 に次の式を入力し、セル G2~K2 に複写した。

=

(1) の解答群

- ア. SUMIF(販売計画!\$B2:\$B10, \$A2, 販売計画!C2:C10)
- イ. SUMIF(販売計画!\$B2:\$B10, \$A2, 販売計画!\$C2:\$C10)
- ウ. SUMIF(販売計画!\$C2:\$C10, \$A2, 販売計画!\$B2:\$B10)
- エ. SUMIF(販売計画!C2:C10, \$A2, 販売計画!\$B2:\$B10)

⑤ 3 行の必要在庫量は、翌月の販売計画量を 10%増やした値である。セル E3 に次の式を入力し、セル F3~J3 に複写した。なお、小数点以下は切り上げる。

=

(2) の解答群

- ア. ROUNDUP(E2 * 1.1, 0)
- イ. ROUNDUP(F2 * 1.1, 0)
- ウ. ROUNDUP(E3 * 1.1, 0)
- エ. ROUNDUP(F3 * 1.1, 0)

⑥ 前年 12 月の繰越在庫量は 0 とするため、セル E4 に 0 を入力する。

⑦ 4 行の繰越在庫量は、前月の繰越在庫量と前月の必要生産量の合計から当月の販売計画量を引いて求める。セル F4 に次の式を入力し、セル G4~J4 に複写した。

=

(3) の解答群

- ア. E4 + E5 + F2
- イ. E4 + E5 - F2
- ウ. E4 - E5 + F2
- エ. E4 - E5 - F2

⑧ 5 行の必要生産量は、当月の必要在庫量から当月の繰越在庫量を引いた数量である。ただし、繰越在庫量が必要在庫量以上ある場合は、0 とする。必要生産量を計算するため、セル E5 に次の式を入力し、セル F5~J5 に複写した。

=

(4) の解答群

- ア. IF(E3 <= E4, 0, E3 - E4)
- イ. IF(E3 <= E4, 0, E4 - E3)
- ウ. IF(E3 >= E4, 0, E3 - E4)
- エ. IF(E3 >= E4, 0, E4 - E3)

- ⑨ セル K6 に 6 月の繰上生産量として 0 を入力する。
- ⑩ 6 行の繰上生産量は、当月の必要生産量と翌月の繰上生産量を加えた値から当月の計画生産量を引いて求める。セル J6 に次の式を入力し、セル E6～I6 に複写する。
- =

(5) の解答群

ア. $J5 + K6 + J7$

イ. $J5 + K6 - J7$

ウ. $J5 - K6 + J7$

エ. $J5 - K6 - J7$

- ⑪ 7 行の計画生産量は、当月の必要生産量と翌月の繰上生産量を加えたものである。ただし、この数が最大月産量を超える場合は、計画生産量は最大月産数とする。セル J7 に次の式を入力し、セル E7～I7 に複写する。
- =

(6) の解答群

ア. $\text{IF}(\$J5 + \$K6 > \$B2, \$B2, \$J5 + \$K6)$

イ. $\text{IF}(\$J5 + \$K6 > B2, B2, \$J5 + \$K6)$

ウ. $\text{IF}(J5 + K6 > \$B2, \$B2, J5 + K6)$

エ. $\text{IF}(J5 + K6 > B\$2, B\$2, J5 + K6)$

